

# 第2期鹿児島市中心市街地活性化基本計画の概要

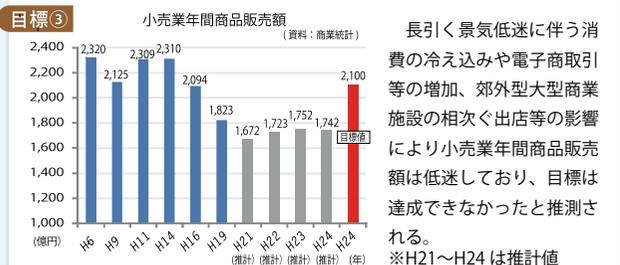
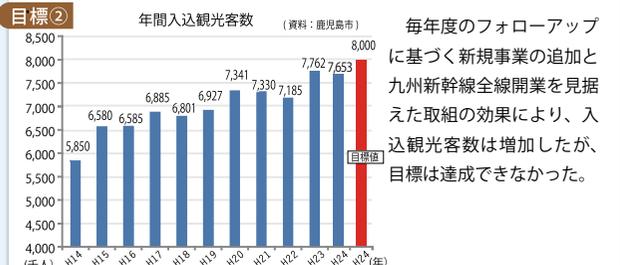
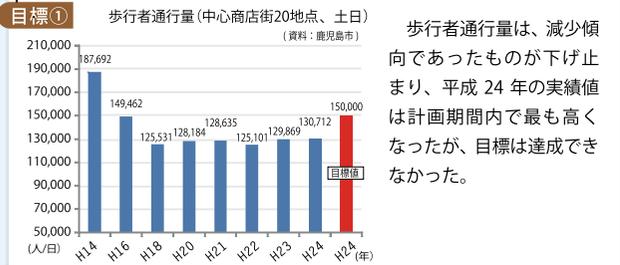
## 第1期基本計画の総括

九州新幹線全線開業を見据えた1期計画の各種プロジェクトの実施（着手率98.75%）により、市電軌道敷の緑化、市街地再開発、観光施設の整備など都市機能の集積が進み、官民一体となったソフト事業も活発化したことで、年間入込観光客数は着実に増加し、歩行者通行量は下げ止まり、平成24年の実績値は計画期間内で最も高くなるなど一定の効果が出ている。

一方、長引く景気低迷に伴う消費の冷え込みや電子商取引などの通信販売の増加、中心市街地外への大型商業施設の立地の影響等により、域内の小売業年間商品販売額は低迷している。

今後は、九州新幹線の効果を持続、拡大させるため、ソフト・ハード両面から中心市街地の魅力を向上させ、回遊性をさらに高めるとともに、小売業をはじめ飲食・宿泊業、サービス業など商業・業務機能のさらなる充実を図る必要がある。

## 数値目標の達成状況



## 環境の変化

- ◆ We Love 天文館協議会などの活動
- ◆ 鹿児島中央駅周辺における都市機能の充実
- ◆ 九州新幹線全線開業による効果の発現
- ◆ 中心市街地外への大型商業施設の相次ぐ出店や増床
- ◆ 空き店舗率の高止まり
- ◆ 都市間競争の激化
- ◆ 人口減少時代の到来 など

## 今後の中心市街地のまちづくりの課題

- ◆ 新幹線効果の中心市街地全体へのさらなる波及
- ◆ 鹿児島中央駅から上町・ウォーターフロント地区への回遊性の向上
- ◆ 小売業をはじめ商業・サービス業機能のさらなる充実
- ◆ 大規模空地、低未利用地の利活用
- ◆ 街なかの情報の共有化と発信機能の強化
- ◆ 国際化への対応
- ◆ 特色ある公共交通の活用
- ◆ 都市型観光・滞在型観光の振興
- ◆ 環境に配慮した取組の推進

## 市民等のニーズ調査の結果

- ◆ 多種多様なお店や商品の充実
- ◆ わかりやすい観光案内やおもてなしの充実
- ◆ 定期的なイベントや文化的な活動の実施
- ◆ 交通アクセスの利便性の向上
- ◆ 屋内外の休憩所やトイレの整備
- ◆ 鹿児島らしい景観整備
- ◆ 集客の核となる拠点の整備

※鹿児島市中心市街地来街者満足度調査（鹿児島市：H23.8）  
地区別意見交換会（鹿児島市中心市街地活性化協議会：H24）より

## 第五次鹿児島市総合計画（平成23年度策定）

**都市像** 人・まち・みどり  
みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま

**基本目標** 人が行き交う 魅力とにぎわいあふれるまち  
〔にぎわい交流政策〕

**基本施策** 中心市街地の活性化

## 第2期中心市街地活性化基本計画

〔コンセプト〕  
**観光・商業・交流による  
にぎわいあふれるまちづくりの推進**

〔計画区域〕 約381ha  
〔計画期間〕 平成25年4月～平成30年3月(5年)

## かごしま都市マスタープラン

都市づくりの基本理念  
（平成19年3月改訂）

多様な都市機能が集約された、すべての人々にとって安心、快適でクルマに過度に依存しない社会への誘導を図り、社会経済の成熟化と人口減少・超高齢化に対応したコンパクトな市街地を形成する集約型都市構造の実現をめざす必要があります。（抜粋）

## 集約型都市構造に向けた土地利用ガイドプラン （平成24年3月）

歩いて暮らせるまちづくり

人口減少・超高齢社会に対応したコンパクトなまちづくりの実現に向け、高齢者をはじめ多くの人々が徒歩・自転車・公共交通機関により日常生活が可能となるまちづくりを目指します。